

社説

逓信事業の収入

逓信事業に種々の缺點あるは世間の公認する所にして當局者に於ても他の攻撃苦情に堪へ難ければ夫れ改良法を工夫して其發達を謀る由なれども財政困難の折柄、經費支出の道を得ずして空しく立消となるもの少ならずと云ふ誠遺憾千萬の次第にして今の必要は先づ逓信事業に充分の資金を與へ當局者を監督して事を成さしむるの一點に外ならずれども此點に就ては深く考ふるまでもなく逓信事業の會計を獨立して其收入は一般會計に編入せず一切事業の改良擴張に費さしむるものとすれば格別の困難を見ずして直に目的を達するを得べし最近の調査に據りて逓信事業の現況を見るに郵便の純益百五十三萬圓電報の純益八十萬圓鐵道の純益三百九十八萬圓、合計六百三十萬餘圓に上る計數なり普通の民衆に比して収益の下らざるは明白の事實にして假りに是等の諸事業を民間に移し株式組織にて營業せしめんにには皆に株主に充分の配當を與へて株式の聲價を維持するを得るのみならず収益の一部を割て事業の改良發達を謀りいよ其増加を見るの餘裕ある可し逓信事業に斯る餘裕あるにも拘はらず是も改良の實を收むる能はざるは全く一切の純益を一般會計に編入して普通の經費に供するが爲めに於て斯の如くなれば事業の發達を求むるの時に至る可し即ち會計を獨立するの必要ある所以にして總收入の内より萬般の經費并に事業擴張公債の利子を除きたる剩餘は盡く事業改良の資金に供して尙ほ其上に殘餘あれば實益を引下げて公衆の便利を擧ぐ可きの瑞西の如き近頃より鐵道事業に此方法を實施する由にして我輩は熱心に其實行を當局者に勸告するものなれども後來政府の方針を見るに普魯西其他獨逸聯邦州の制度を最も完全のもの認め鐵道を始め逓信事業の收入を増して一般の會計を補ひ以て増税の困難を免かれんとするの形跡なきに非ず現に前内閣の如き三十二年の歳入不足を補はんが爲めに電信鐵道の收入三百六十七萬圓を増して一般歳入の方略として宜しきを得たるものに非ざるは云ふまでもなき次第にして其結果は運輸交通の機關に課税して公衆の不便を買ふに過ぎず現内閣は如何にして歳入の増加を謀らんとするや豫算査定の方針未だ明ならざるを以て容易に知り難けれども我國の如く酒税その他に依りて歳入の増進を謀る場合には先づ其増收の財源に充分の餘裕を得る場合には先づ其増收に依りて歳入を増進し逓信事業の收入を増すなごの措置は斷じて思ひ止まり速に會計の獨立を謀る可きものなり

米西媾和假條約の要領

米西媾和の件に付き外務省に電報ありたるよしは前報に略報せしが尙ほ其全文を得たれば左に掲ぐ  
媾和假條約は本月十二日午後を以て國務卿及び佛國大使間に調印せられたり同假條約の成立は表せられされども確報に依れば左の如くなりと聞く  
一、西國は政馬島に對する主權及び總ての權利を放棄する事  
一、西印度諸島に屬するポルトリコ及び其他の西領諸島并にラドロン近海に屬する一編を米國へ讓與すべきこと但し此一編は米國に於て選定すべし  
三、フオリアン群島の管理處分及び施政を決定すべき媾和條約の締結せらるる迄は米國に於てマニラ市灣及び港を占領保有すべきこと  
四、西印度諸島に屬する政馬島ポルトリコ及び其他の西領諸島より迅速に撤兵すべし且つ議定書調印後三十日以内(三十日なるや十日なるや電文不明)に任命すべき委員は該撤兵に關する細目を協定施行する爲め各ハザア及びサンフエアンの兩所に會合すべき事  
五、米國及び西班牙國は媾和條約を締結する爲め各五名より多からざる委員を任命すべし該委員は通も十月一日迄に會合すべき事  
六、此假條約調印の上は交戦を中止し兩國政府は速に此旨海陸軍司令官に通報すべき事  
此假條約調印後直に各司令官に向て交戦停止の命を傳へられたし

マニラ戰報

去月三十一日西班牙と米軍との間に衝突ありしことは我が香港特電の報せし所なるのみか海軍省へも同様の公電あり右の衝突は西班牙軍より攻撃を取りたるものならんとの事も既に報せし所なるが此程香港より或筋へ達したる電報は左の如く報せし越したるよし  
馬尼刺よりの近信に依れば七月三十一日西班牙軍は米軍を攻撃して敗走し八月一、二兩日、更に攻撃を試みたるも再び撃退せられたるものなり  
○朝鮮疑獄事件の判決  
韓國に於ける疑獄事件に關し十五日京城發にて外務省に左の電報ありよし  
昨夜疑獄事件に關する裁判宣告あり朴定陽、閔泳駿、金在殷、李南熙の四名は放免せられ本日午前二時各自歸宅せり李用漢、李輔漢、金在豐、李忠求、李祖深、李鍾林の六名は流罪(年數不明)の宣告ありたり

英國の海軍擴張

其信條は未だ知るべからざるも露國が其海軍擴張の計畫を中止したる事は前報所報の如くなるが此程の電報にも見えたる如く英國が新に八百萬鎊を以て海軍擴張の計畫を立てたるは全く露國に對して釣合を取らん爲めに

石塚國分兩氏の歸任

石塚國分兩氏の歸任 臺灣總督府  
前任參事官石塚英藏朝鮮公使館通譯官國分象太郎の兩氏は何れも昨日東京を出發し石塚氏は威海衛、國分氏は多分後川丸にて夫れ歸任する等なり  
○判檢事登用受驗者資格 從來は官立學校及び司法大臣の指定したる公私立學校に於て三年以上法律學を修めたる者なりしを改めて之を卒業したる者と爲したり(司法省令第十六號)

外國語學校の生徒募集

高等商業學校附屬外國語學校にては來る九月より入學せしむべき英、佛、獨、露、西、清、韓等の各國語の生徒を更に募集する由

智惠袋

安語 海外譯補  
虚言妄語するも真れ、約に背くも真れ、世には間に合せの口上又は止むむと得ざる運命なきいふも真れ、入らざる事なり、實を告ぐるが不利なるために黙して已みたりんは好し、更に一步を進めて架空の言を出さんば過ぎたり、人と約して時を愆らざる如きは、瑣細の事のやうなれども、久しく行ひて怠らずば、ふれのみても重き信任を得べきものぞ  
物を藏むる處 凡そ文書物件の類は、必ず藏むべきところありて、藏めたるは、暗中に搜索して奪取せらるるやうな事なきべし、塵埃を蒙るる人は、他人に侮らるる人ぞ知れ、此心は預けられたる物、儲りたる物に於いて一層の秘密を加へるべからず、物みなその應に在るべき處に在りて、秩序紊れらるるには、人の物を借りて忘れ、期を過ぎ促されて、續に歸し還るが如き不都合は無き事なり、所謂またがしの鉄すべきは言を頼たす、

世話

人の終に汝を棄てざらんことを欲せば、汝先づ人を棄てざれば、世の交際をつとむるものは多くは是れ世話にて、世話好む人は人に愛せらるるものなし、世話者ならぬに人を愛して人は棄てらるるものは、例を好む人の上に多し、世話の嫌なり、

てらだらう今吐劑を飲でも無益だ河豚の毒が囁かれるなら囁て見ると云たら三刀も持者の事だから能く分て居るサア氣を揉で私に試者振付くやうに腹を立てたが私も後になつて餘り酒毒に念が入過ぎたと思ひ配した随分間遊の生じ易い話だから  
前に云ふ通り御覽の植木見世で萬引と疑はれたが疑はれる筈だ精方の養生は本當に萬引をして居た其萬引と云ふは呉服店で反物なんや云ふ念の入た事ではない料理茶屋で飲んだ酒に猪口だの小皿だの色々手ごころな品を飾り込んで來るやうな萬引である同窓生互に夫れを手柄のやうにして居るから疑別會なせよ云ふ大言のときはは獲物も多し。中には昨夜の會で團扇の大きなのを脊中に入れて歸る者もあれば半たい大皿を便中し吸物碗の蓋を挟にする者もある又或る奴は若達がそんな半端物を舉げて來るのはまだ拙ない乃公の獲物を弄見し給へと云て小皿を十人前揃へて手拭に包んで來たももある今思へば是れは茶屋でもトックに知て居ながら黙つて通して實は其蓋品の勘定も拂の内に這入て居るに相違ない毎度の事であら極りの盗坊だから、其小皿に縁のあつて酒が飲みたくなつて嗚呼飲みたいといふ一人が云ふと僕も稱うだ云ふ者が直に四五人出て來た所がチャント門限があつて出るもどか出ぬぬから當直の門番を脅迫して無理に開けさせて歸つた云ふ納涼の酸漿帳で不味いけれど羊羹汁が何かで安い酒を飲で歸りに例の通りに小皿を五六枚揃けて來た夜十二時過ぎでもあつたか難波橋の上に來たら下流の方で茶船に乗ってチャラ〜三味線を鳴らして騒いで居る奴がある「あんな事をして居やがる此方は百五十千其處邊の金を見付出して漸く一盃飲で歸る所だ思ふ奴等だ、あんな奴があるから此方等が貧乏するのだと云ひさま私に持てる小皿を二三枚投付けたら一番仕舞の一枚で三味線の音がブツッ止んだ其時は急いで逃げたから人が怪我をしたかどうかわらなかつた所が不思議にも一箇月ばかり経て其れが能く分つた、體の一生が北の新地に行つて何處かの席で遊者に逢ふたとき其遊者の話に「世の中には酷い奴もある一箇月ばかり前に一夜に私が客さんと舟で難波橋の下で涼んで居たら船の上から私を投げて丁度私の三味線に中つて裏表の皮を打たせましたが本當に危ない事だ先づ一撃をせんのが仕合でした何處の奴か四五人連れで其血を投げて散つたの方にドン〜逃げて行きました實に憎らしい奴もあればあるものと斯う〜遊者が話して居た云ふのを私共は夫れを聞いて下手人にはチャント覺えがあるけれども云へば面倒だから其同窓の養生にも其時には隠して置